

海上の森保全活用計画進捗状況(主要事業)と今後の進め方(案)

資料2別紙1

事業展開項目	内容(全体計画)	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
愛知万博記念の森としての保全	自然環境の保全	湿地・森林鳥類生息状況調査 (ローテーションにより実施)	湿地	湿地	森林	森林	鳥類・外来種	湿地	湿地	森林	森林	鳥類・外来種	
		希少動植物の調査 (オオタカ、ムササビ、ホトケドジョウ)	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	
森林の整備	人工林の整備(間伐対象100ha) 目標計画35ha	3.28ha (3.28ha)	2.81ha (6.09ha)	3.52ha (9.61ha)	2.85ha (12.46ha)	2.64ha (15.10ha)	5.92ha (24.02ha)	目標計画35haに向けて整備推進					
	広葉樹林整備(除伐・間伐等)	0.45ha (0.45ha)	0.54ha (0.99ha)	0.97ha (1.96ha)	0.78ha (2.74ha)	0.69ha (3.43ha)	— (3.43ha)	適正な整備推進					
	針広混交林(除伐・間伐等)	3.35ha (3.35ha)	3.06ha (6.41ha)	3.53ha (9.94ha)	2.99ha (12.93ha)	2.98ha (15.91ha)	— (15.91ha)						
								◆ 具体的な森林整備・管理計画の作成・実績の記録(システム検討を含む) ◆ 高齢級林分の維持管理検討(現状把握と管理指針) ◆ 発生木材の有効利用(木材生産(販売)を含む)の検討と実施					
農地の整備	作業体験農地管理(毎年0.3~0.5ha)	0.63ha	0.62ha	0.62ha	0.62ha	0.67ha	0.65ha	適正な維持管理					
	里山環境として保全する農地管理							農地として適正な維持管理(耕耘・水路整備・畦道整備・草刈り等)					
	ため池の整備、管理				整備	修景作業		適正な維持管理					
森林や里山の学習と交流の拠点づくり	体験学習の実施	森の教室 毎年10回程度	10回	10回	10回	9回	(委託化)6回	6回	ニーズ等を踏まえ、内容を見直し実施				
		里の教室 毎年8回程度	9回	8回	9回	(委託化)10回	10回	10回					
		里山のものづくり 毎年4回程度	4回	4回	4回	(委託化)3回	3回	4回					
		調査学習会 毎年7回程度	7回	7回	7回	(委託化)7回	7回	7回					
		海上の森ツアー 毎年4回程度	4回	4回	4回	4回	(委託化)4回	4回					
		遊歩施設プログラム 毎年10回程度	10回	10回	10回	4回	(委託化)4回	4回					
		心身障害者のための森林体験プログラム		開発	プログラムの実施								
	幼児森林体験推進(幼児森林体験フィールド)			プログラム・マニュアル作成 フィールド整備	活用、維持管理	12回 1,283名	17回 1,426名						
人材の育成	あいち海上の森大学(毎年30人)		36人 (36人)	43人 (78人)	31人 (109人)	27人 (136人)	31人 (167人)	内容の検討(運営委員会で検討)・受講生の確保					
	国際フォーラム							内容の検討(実行委員会で検討)					
情報発信	海上の森自然環境情報の展示、ムーアカデミー通信	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○		
協働・連携の推進	海上の森の会(平成22年度NPO法人化)	協働した森林や里山の保全・活用、体験プログラムの受託等											
	あいち自然ネット		設立	運営、協働した催事開催等									
	企業連携プロジェクト			3社 (3社)	2社 (5社)	1社 (6社)	2社 (8社)	参加企業の募集、現地指導等					
	その他(地元、小中学校、大学等との連携)	情報交換等											

◆ 特に検討し、進めていきたいこと

事業展開項目		内容 (全体計画)	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
愛知万博記念の森としての保全	自然環境の保全	湿地・森林鳥類生息状況調査	湿地	湿地	森林	森林	鳥類・外来種	湿地	湿地	森林	森林	鳥類・外来種		
		希少動植物の調査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		専門家意見聴取・情報の収集・発信	→											
	森林の整備	人工林の整備 (間伐対象100ha)	間伐	← 毎年3~4ha実施									← 期間中に35ha実施	
		“百年の森”への誘導 (約70ha)		高年齢間伐	← 木材の有効活用									
		針広混交林	除伐・間伐等	→										
		草地・竹林	草地測量	←									← 草地・竹林管理	
	農地の整備	作業体験農地 (毎年3~5千m2)	耕地管理	← 現在年3千m2実施					← 目標年5千m2					
		里山環境として保全する農地	保全管理	← 農地として適正な維持管理(耕耘・水路整備・畦道整備・草刈り・ため池整備等)										
	森林や里山の学習と交流の拠点づくり	体験学習の実施	森の教室 毎年10回程度	→										
里の教室 毎年8回程度			→											
里山のものづくり 毎年4回程度			→											
調査学習会 毎年7回程度			→											
海上の森ツアー 毎年4回程度			→											
遊歩施設プログラム 毎年10回程度			→											
心身障害者のための森林体験プログラム			開発	← プログラムの実施										
人材の育成		あいち海上の森大学 毎年15日・30人	検討会議	開校	← <10か年継続 300人育成>									
		国際フォーラム 毎年1回		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		指導者養成講座 毎年8回・40人		← <延べ400人>										
	森林ボランティア研修等		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
普及・情報発信	シンポジウム・意見交換会等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	モデル事例提供・ネットワーク形成	→												
施設整備と運営	里山の小径・炭焼き体験学習用施設		里山の小径	← 炭焼施設(協働による整備)										
	案内看板、トイレ、駐車場等	必要に応じ	←											
協働・連携の推進	海上の森の会	毎月調整会議	→											
	その他の団体等	調整会議等	→											
	地元地域	調整会議等	← 協働・連携の推進											
	小中高校・大学	情報提供等	→											
	関連施設等	情報交換等	→											
	企業等	検討会	→											